

2015年10月30日

日本金融学会会員各位

日本金融学会2016年度春季大会  
プログラム委員会

## 日本金融学会 2016 年度春季大会のご案内と報告論文の募集について

日本金融学会 2016 年度春季大会を 2016 年 5 月 14 日(土)・15 日(日)の両日、武蔵大学 (江古田キャンパス) において開催することとなりました。ここにご案内申し上げますとともに、自由論題の報告を下記のとおり募集いたしますので、奮ってご応募ください。

記

**応募期限：2016 年 1 月 12 日 (火) 当方必着**

**応募資格：**日本金融学会の個人会員、および賛助団体・特別会員の登録会員

※ 非会員の場合は、報告申し込み以前に、学会への入会申し込みを済ませておく必要があります。

**応募内容：**以下の 1 および 2

1. 申込書：別紙「報告申込書」に以下の内容を記載したもの
  - (1) 報告希望者氏名 (日本語・英語の双方)、所属 (日本語・英語の双方)
  - (2) 報告論文共著者氏名 (日本語・英語の双方)、所属 (日本語・英語の双方)
  - (3) 報告論題 (日本語・英語の双方。印刷配布されるプログラムに掲載を希望する方に○をつける。)
  - (4) 報告言語 (日本語・英語のうちいずれかを指定)
  - (5) キーワード (3語)
  - (6) 報告の該当セッション (以下のセッション案から選択)

A 金融理論	B 金融政策・金融マクロ	C 金融仲介機関	D 金融市場分析
E 証券投資分析	F 行動ファイナンス	G 国際資本移動	H 為替・通貨
I 金融制度	J 企業金融	K マクロブルーデンス政策	L 金融史
M 保険・リスクマネジメント	N 地域・中小企業金融	O 各国金融	P その他

- (7) 報告希望者の住所・連絡先 (メールアドレス、電話・FAX を含む)
- (8) 希望する討論候補者 2 名の氏名、所属、住所・連絡先 (メールアドレス、電話・FAX を含む)
2. 報告内容を示す資料：「報告要旨」(2部)と「フルペーパー」(2部)  
なお、フルペーパーのない申し込みは無効となりますのでご注意ください。

**応募方法：**以下の方法で申し込んでください。「報告申込書」のWORDファイルは学会ホームページの「全国大会」ページで入手できます。採択された場合、「報告要旨」は学会ホームページにそのまま掲載されますので、別紙「報告要旨の執筆要綱」に従って作成してください。

学会ホームページの「全国大会」ページにある「大会報告申し込み」をクリックし、必要事項を記入して申し込む。その際、「報告申込書」「報告要旨」「フルペーパー」の各ファイルをアップロードすることが要求されます。なお、今回の大会より、学会ホームページを経由した申し込みに一本化されております (メールによる申し込みはなくなっております) ので、十分にご注意ください。

さらに、「報告申込書」(2部)、「報告要旨」(2部)、「フルペーパー」(2部)を印刷して、下記住所に郵送してください。応募期限はすべて同じです。

**応募先：**〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1 武蔵大学 経済学部内  
日本金融学会武蔵大学大会事務局 茶野 努  
メール：chano@cc.musashi.ac.jp [TEL: 03-5984-3737](tel:03-5984-3737)

なお、報告者・討論者の決定はプログラム委員会が行います。審議の状況によっては、ご希望に添えない場合もありますことを、あらかじめご了承ください。

以上

日本金融学会2016年度春季大会 武蔵大学（江古田キャンパス）2016年5月14日（土）・15日（日）

## 報告申込書

<b>報告希望者氏名 *</b>	和文	英文
<b>報告希望者所属 *</b> 大学院生の場合は「〇〇大学 大学院生」と記入してください。	和文	英文
<b>報告論文共著者氏名 *</b>	和文	英文
<b>報告論文共著者所属 *</b>	和文	英文
<b>報告論題 *</b> 配布プログラムに掲載を 希望する方(和文または英文)に ○をつけてください。	和文	英文
<b>報告言語</b>	日本語	英語 (いずれかに必ず○)
<b>キーワード(3語)</b>		
<b>報告論文の該当セッション に○をつけてください。</b>	A 金融理論 B 金融政策・金融マクロ C 金融仲介機関 D 金融市場分析 E 証券投資分析 F 行動ファイナンス G 国際資本移動 H 為替・通貨 I 金融制度 J 企業金融 K マクロブルーデンス政策 L 金融史 M 保険・リスクマネジメント N 地域・中小企業金融 O 各国金融 P その他	
<b>報告内容</b>	「報告申込書(この用紙)」(2部)、報告言語で執筆された「報告要旨」(2部)、「フル・ペーパー」(2部)を印刷して郵送し、それとは別に、3つのファイルを学会ホームページ経由でお送りください。報告要旨の様式は別紙「報告要旨の執筆要領」を参照ください。	
<b>報告希望者住所</b>	〒	
<b>電子メール・アドレス</b>		
<b>電話・FAX</b>	TEL	FAX

\* がついている項目については、必ず日本語と英語両方の表記をして下さい。

希望する討論候補者2名についてご記入ください。

① 氏名	
所属	
住所	〒
電子メール・アドレス	
電話・FAX	
② 氏名	
所属	
住所	〒
電子メール・アドレス	
電話・FAX	

※討論者はプログラム委員会が決定しますので、上記の方々が討論者とならない場合もあります。

**応募期限 2016年1月12日(火) 当方必着 (学会ホームページ経由、郵送は同じ締切日です)**

## 報告要旨の執筆要綱

日本金融学会ホームページ委員会

大会準備委員会・プログラム委員会より、皆様に報告要旨の執筆依頼があったことと存じます。この報告要旨は、学会のホームページ(HP)に掲載されます(\*)。皆様の作成された報告要旨ファイルは、そのままPDFファイルに変換され、HPに掲載されますので、以下の執筆要綱を必ずお守りくださるようお願いいたします。HPに掲載されたファイルの内容と体裁につきましては、ご報告者の責任となりますので、あらかじめご了承ください。

\* 2008年度より、従来報告要旨を掲載しておりました『金融学会会報』(紙媒体)は廃止され、HPのみの掲載となりました。

なお、作成していただいた報告要旨ファイルは、学会ホームページを経由して大会準備委員会・プログラム委員会に提出していただきます。提出期限につきましては、大会準備委員会・プログラム委員会からの指示に従ってください。

### <執筆要綱>

**ファイル名** : 次のルールに基づいて作成してください。すべて半角で、(2016年度春季を意味する)16S- を先頭に付け、第一著者のフルネームを英小文字で表記する。たとえば、16S-ogawaeiji.doc のようになる。かりに2つの報告を行う予定がある場合は、区別するために、フルネームの最後に1、2の番号を振る。たとえば、16S-ogawaeiji1.doc のようになる。

**ファイルの種類** : MS-WORD (不可の場合はテキストファイル)

**用紙サイズ** : A4判

**用紙余白** : 上下左右とも30mm(85.05pt)を標準とする。

**1枚あたり字数** : 全角計算で40字×34行を標準とする。

**枚数制限:1枚**(サーバーの容量もあり、必ずお守りください。)

**フォントの種類** : 日本語はMS明朝、英語・英数字は半角Centuryを標準とする。

**フォントのサイズ** : 10.5ポイントを標準とする(タイトルは別)

**タイトル** : 12ポイント、太字、センタリング(複数行可)

**所属・氏名** : 右寄せ(所属は機関名のみとし、部署名は省略)

注: 大学院生の場合は「\*\*大学大学院生」と表記

各段落の先頭に1マス分(英語の場合は1タブ分)の空白を入れる。

具体例として、学会ホームページ<<http://www.jsweb.org>>の全国大会ページに掲載されている過去の大会の報告要旨を参照してください。